

特別支援学級にエアコン設置を



答 課題もあるが早急に対応したい

小林 征男 議員

問 近年の異常気象に伴う、夏場の高温は教育環境現場に深刻な影響を与えている。障がいのため、体温調節が困難な児童生徒がいるのではないか。特別支援学級数と児童生徒数は。

答 学校教育課長 平成29年10月1日現在、5小学校に17学級82名、3中学校に7学級34名。

当町は知的障害と自閉症情緒障害の2区分で開設しており、知的学級は小中学校合計で13学級63名、情緒学級は11学級53名。

問 児童生徒の諸事情で、教室の窓を開けることができない場合があり、特別支援学級の児童生徒の体感温度は風通しの良い普通教室に比べ、はるかに高いと聞くが、特別支援学

級の教室は何階に配置してあるか。

答 課長 学校ごとに異なるが、学校全体の教室配置や通常学級との交流などを配慮した上で教室配置が行われている。

1階5学級、2階18学級、3階1学級。

問 学校環境衛生基準はいつごろ制定され、温度・湿度についてはどのように定めてあるか。

答 課長 平成20年の学校安全保健法の改正に伴い、新たに学校環境衛生基準として定められ、平成21年4月1日から施行。

問 過去5年間、教室内で、熱中症などは発生していないか。

答 課長 町内の小学校においては、そのような事故は起きていない。

問 具体的に夏場の気温を調査し、学校環境衛生基準が満たされた状態で授業を行っているか。

答 課長 握光、換気、保溫、採光、照明、騒音などの環境について、学校環境衛生基準により、年に1、2回程度、各学校の養護教諭が中心となり定期的に検査を行っている。



自然を生かした学校づくり(宇美小学校)

問 特別支援学級にエアコンを設置する考えはないか。

答 町長 特別支援学級の児童生徒には配慮すべき課題などもあり、空気の循環による温度調整なども含め、早急に対応したいと考えている。

答 特別支援学級にエアコンを設置する度であった。

一般質問



国民健康保険の広域化は

答 将来的には安定化の方向

藤野 莞嗣 議員

問 県の標準税率に基づいて、宇美町の国保税が定められる。税率が変わるのか。

答 住民課長 広域化に伴い、県から示された、標準税率及び納付金の額により、当課で検討した結果、資産割の分は、今回は見送ることとした。

等割2万2千円、平等割2万4千円となり、将来的には、資産割をゼロにするという方針だが、その後は。

一般会計からの赤字補てん、法定外繰入が大幅に改善された。改定によって所得割8%、資産割10%、均等割2万2千円、平等割2万4千円となり、将来的には、資産割をゼロにするという方針だが、その後は。

平成30年4月から県と市町村で協力し、国保の広域化が実施される。

一般会計からの赤字補てん、法定外繰入が大幅に改善された。

改定によって所得割8%、資産割10%、均等割2万2千円、平等割2万4千円となり、将来的には、資産割をゼロにするという方針だが、その後は。

平成30年4月から県と市町村で協力し、国保の広域化が実施される。

問 宇美町の条例で定める国民健康保険税が、町の負担分で軽減措

答 課長 国保の滞納繰越金はこれまでどおり町で収納を行い、その収入は県への納付金にも充てられる。

問 宇美町には、過年度の滞納金がかなりあるが、それはどうなるのか。

答 課長 あくまでも標準の税率である。各市町村それぞれ、国保会計に対する課題、事情を抱えていることで進んでいる。



◆財政改革推進プランについて
その他の質問

答 課長 医療費の水準が県平均よりも高く、所得水準は若干ではあるが平均を下回っている。

問 将来的な国保の運営について、この広域化は住民にとって有利な制度であるか。

答 課長 軽減措置については、変更はない。また、町の負担についても、今のところ変更はない。

と高めであることから、当町も小規模自治体と同様の恩恵をある程度受け、広域化により将来的には財政の安定化に向けて進んでいくのではないかと思っている。

と高めであることから、当町も小規模自治体と同様の恩恵をある程度受け、広域化により将来的には財政の安定化に向けて進んでいくのではないかと思っている。